



和歌山県立田辺工業高等学校 保健室 2020年1月第2号 (Vol.23)

まだまだ寒い日が続いていますが、梅のつぼみもうっすら色づき、日の光も輝きを増してきたように感じる今日この頃。春の兆しにほっこりしたいところではありますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大もなかなか収まらず、和歌山県内でも毎日のように新規感染者が報告されています。県からも、改めてマスクの着用、多くの人に触れる場所や共有部分の清掃・消毒、手洗いの励行などについて徹底するよう注意喚起がありました。

ほぼ毎回お伝えしていますが、感染症予防はひとりひとりの心がけが大切です。再度、自分の予防行動を確認してください。



こまめな手洗いが基本ですが、共有部分の清掃・消毒も有効です。消毒用アルコールのほか、家庭用洗剤を表示通りに薄めて拭きます。家庭用洗剤を使う場合は手袋・マスク着用のうえ、仕上げに水拭きとから拭きをしましょう。

* 経済産業省 HP に、消毒に有効な市販の洗剤一覧が掲載されていますので参考にしてください。

大切にしたい“教訓” 防災とボランティアの日

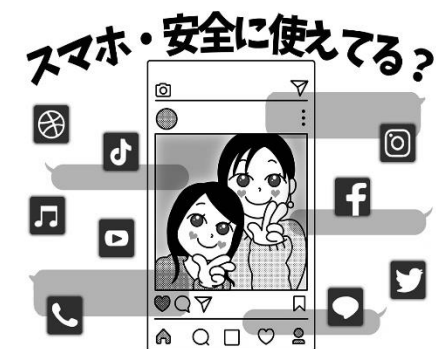


1995年1月17日に起きた、阪神・淡路大震災。その後、復興に大きな役割を果たしたボランティア活動への認識を深めると同時に、災害への備えの充実・強化を図る目的で「防災とボランティアの日」が制定されました。

そして、2011年3月11日。東日本大震災が発生し、津波などが原因で多くの負傷者・死者・行方不明者が出ました。しかし、その中でも、これまでに起こった津波・地震の教訓を活かし、難を逃れた人たちが少なからずいたのです。また、復興は未だ道半ばではあるものの、過去の災害からの学びがさまざまな場面で活かされています。

自然災害は完全に予測したり、防いだりすることはできません。いかに被害を最小限に食い止め、早く復興するか。そのための“備え”です。今後の発生が予想され、東日本大震災を上回る規模ともいわれている「南海トラフ巨大地震」のような災害がもし、いま起こったら…？ 教訓を忘れず、できる準備をしっかりすすめておきたいですね。

とってもとっても便利なスマホですが、スマホであるが故のトラブルもたいへん多く起こっています。時にはひとの命に関わる重大な事件が起こっていることはみなさん知っていることだと思います。「デジタルタトゥー」ということばを知っていますか？一度ネット上に公開されたものは削除しきれずさらされ続けるそうです。安全に、適切に使用してください。



※ 3年生は家庭学習期間に入りますが、この期間中も毎日の健康観察と健康観察票への記入をお願いします。登校日と卒業式当日は学校に持ってきてください。PCR検査を受けることとなった場合等はすぐに担任に連絡してください。